

(様式1)

令和6年度学校パワーアップ事業全体構想

学校名

荒川区立第一中学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容

○「あいさつ的一中」「ボランティア的一中」「歌う一中」を校訓とし教育活動に取り組み社会に貢献できる生徒を育成する。
 ○人権尊重教育推進校として取り組んだ実績をもとに正しい人権感覚を身に付け「思いやりの心」を実践できる生徒を育成する。
 ○学校図書館、ICT機器を活用し「探究学習」に取り組み、これからの社会に通用する「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。

学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
○基礎学力の定着 ・長期休業中に外部講師による集中講座を行い、基礎学力の定着及び向上を目指す。 ○家庭学習の習慣化 ・eライブラリコンテンツを活用し、家庭学習の習慣化を図る。 ○指導力向上・授業改善 ・採点ソフトを活用し採点作業の効率化、確実性を向上させ、定期テスト結果の振り返り時間を充実させることで生徒の学力向上を図る。 ・調べる学習ソフトを導入しICT機器の活用をより推進し生徒の学習環境を改善することで、生徒の学力向上を図る。 ○特別支援学級生徒の自己達成感の育成 ・個々の目標に合わせた漢字検定の受験を支援する。	○文化的活動の充実 ・学習発表会の活性化することで情緒教育の向上を図る。 ・合唱コンクールでは専門家に審査を依頼することで「歌う一中」の意識を高める。 ○キャリア教育の推進 ・外部団体と連携を図りキャリア教育の充実に取り組む。 ○伝統文化学習の充実 ・音楽の授業において外部人材を活用し三味線を行い日本の伝統文化への理解を深める。 ○外部人材の活用 ・生徒が将来の進路について自ら選択できるようキャリア教育を視点した講演会を充実させる。 ・運動会での伝統種目である「ダンス」の技能向上を図るために講師を招聘し取り組む。 ・道徳授業の充実を図るために道徳授業地区公開講座に講師を招聘し講演を行う。	○生徒理解を深める ・hyper-QU等を活用した、互いに認め合える学級集団づくりを充実させる。 ・講師を招聘しQ-Uアセスメントを行い、hyper-QUの結果を基にした学級経営、学年経営を図る。 ○生徒会・防災部・ボランティア部の活動支援（社会性育成の充実） ・「ボランティア的一中」を実践し地域と連携した奉仕活動の実践 ・地域町会と連携した防災教育の充実を図る。 ・学校花壇の整備・充実を図り、四季折々の植物を栽培し、心和む学習環境を整え自然愛護の心情を育てる。

令和5年度 全国・荒川区学力調査に関する結果（平均正答率：％）

区学力調査（全学年）

	1年					2年				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	54.3	44.5	58.8	51.9	78.7	63.3	47.8	52.6	45.8	46.2
区	60.2	50.7	67.6	59.5	84.5	64.5	48.3	55.5	49.7	49.8
区との比較	▲ 5.9	▲ 6.2	▲ 8.8	▲ 7.6	▲ 5.8	▲ 1.2	▲ 0.5	▲ 2.9	▲ 3.9	▲ 3.6
	3年									
	国語	社会	数学	理科	英語					
自校	63.5	47.8	57.8	51.5	51.0					
区	65.9	49.9	56.1	45.2	50.3					
区との比較	▲ 2.4	▲ 2.1	1.7	6.3	0.7					

全国学力・学習状況調査(3年)

	国語	数学	英語
自校	70	55	51
全国(公立)	69.8	51.0	45.6
全国(公立)との比較	0.2	4.0	5.4

※学校の結果は整数で示されています。

(様式2)

令和6年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第一中学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
基礎学力の定着 家庭学習の習慣化	<p>【内容】 朝学習、放課後、長期休業中の補充教室を充実させ基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を図る。第3学年の受験対策や家庭学習のツールとしてeライブラリを活用する。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・前年度区学力向上調査の「区との比較」の数値を、全学年、全教科で2～3ポイントの上昇を目指す。・学校評価「学習習慣」の肯定的な回答70%を目指す。
指導力向上と授業改善（ICT教育及び図書館の充実）	<p>【内容】 学校図書館とICT機器機器を活用した授業の充実を図り、生徒が興味・関心を抱き主体的に授業に取り組むことで、生徒の学力向上を図る。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校評価「情報教育」で肯定的な回答90%以上を目指す。・学校評価「学校図書館の活用」で肯定的な回答60%以上を目指す。
特別支援学級生徒の自己達成感の育成（漢字検定受験料補助）	<p>【内容】 特別支援学級の生徒にも、やればできたという「自己達成感・自己効力感」を育成するため、漢字検定一回の受験補助をする。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・受験者の合格率70%以上を目指す。（令和5年度の合格率58%）